

# エキスパートシフト打ち合わせ

# Outline

- エキスパートシフトとして今までやっていたことの列挙
  - MUMON shift
  - INGRID shift
  - Beam summary check
  - Beam summary process for ND280 data
  - Horn calibration task
- 2010 → 2011での変更点
- Man powerの確認
- Discussion

# MUMON shift

- 問題発覚時の対応(On call shift)
  - 現場対応(可能な範囲)、MUMONエキスパートへの連絡。
    - 追加調査・復旧は鈴木・村上。
- データの解析
  - ビームサマリーデータチェックのところで何か問題があるなどすると、鈴木くんが調査。
- (ガスの残量のチェック)
  - MUMONエキスパートとしてはやっていた。

# INGRID shift

- 詳しくは大谷さん作のマニュアルに
- On call shift
- データクオリティのチェック
- ND280のデータクオリティミーティングでの報告

# Beam summary check

- 今までは大谷さんがカバー
- ビームデータを解析し、Good spillの数を求める
  - 解析ツールは既にあり(ビームラインの解析プログラム、大谷さんのスクリプト)
- Bad spillの理由(何があったか)の調査
  - 今は専用MLを使って情報を共有しつつ調査
- Beam group meeting にて報告
- 報告後ND280とSKにビームサマリーデータを配布
  - 質問対応などのアフターサービスも(どの程度?)

# Beam summary process for ND280 data

- ND280のデータとBeam summary dataのGood spillの対応をつける(?)。
- プログラムは既にある。
- プロセス後、ND280全体にアナウンス
- 質問対応などのアフターサービスも(どの程度?)

# Horn calibration task

- 今までは久保→村上が担当。
- 定期的に(Run毎ぐらいに)ホーンのキャリブレーションコンスタントをアップデートする。
- 坂下さんから実際にオシロで測定したホーンカレントと、FADCで読んだカレントを元にキャリブレーションコンスタントを求める。
- 解析ツールは既にそろっている。
- 結果をビームミーティングで簡単に報告
- データベースのアップデートも今後行う予定(今はMarkさんが担当)。

# 2010 → 2011

- 大谷さんがINGRID expertから外れる
- 村上也(段階的に)MUMON expertから外れる
- 大谷さんの beam summary check の引き継ぎ
- 矢野さんの beam summary process for ND280 の引き継ぎ
- 村上のHorn calibrationの引き継ぎ

(今のところ)上記以外に新規のタスクはない

# Man power

- 京大としては、池田、村上、家城、鈴木、木河、高橋、平木 (計7人).
- Phill, Chistopheも?
- 市立大は？他大学は？

# Discussion

- MUMON, INGRID shiftの作業内容に変更はないか？
  - ない場合は以前と同様にこの二つは兼ねられる
- Beam summary checkとND280 processは兼ねられるか？ → 兼ねることができればスムーズに物事が進む。
- Beam summary checkのbad spillの調査が大変そう。実際どの程度か >> 大谷さん
- ND280 processの作業(アフターサービスを含め)はどの程度大変か >> 南野さん

# cont'd

- Horn calibration taskはどういう扱いにするか？ → Horn calibration expertを作るか？どれかのシフトに組み込むか？
- Shift期間は？
  - MUMON & INGRID : 1週間毎
  - Beam summary check & process @ND280: 1週間毎
- Expert shiftのmanagementは誰がやるか？
  - Beam line shiftのように持ち回りにするのが妥当か